

戸田市DX推進ビジョン



2022年5月

戸田市企画財政部デジタル戦略室



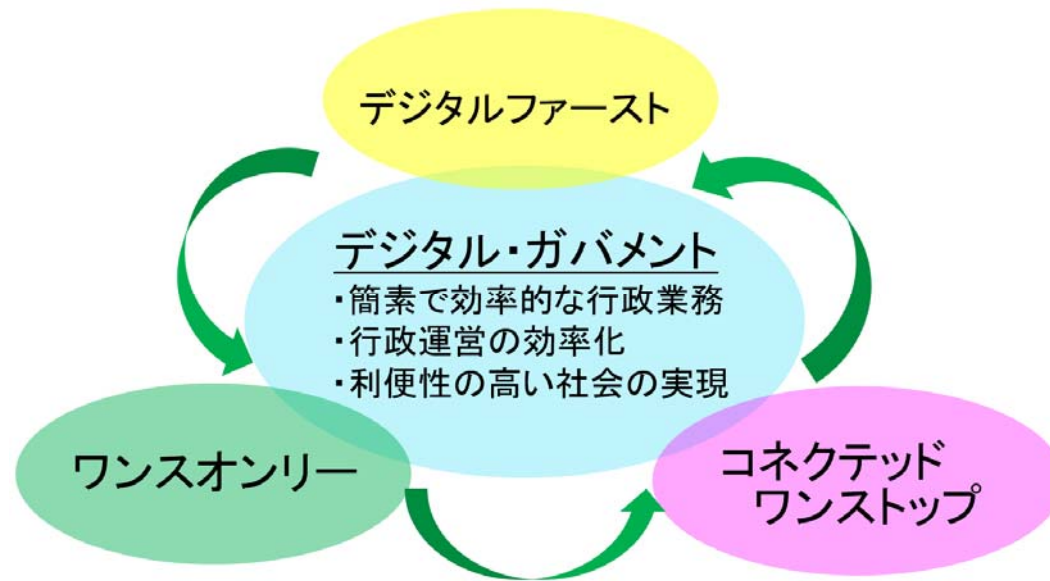
DX推進ビジョンの位置づけ

令和3年3月に策定した戸田市第3次情報化推進計画（デジタル市役所推進計画・官民データ活用推進計画、以下DX推進計画）では、市が目指すビジョンとして「戸田市は、全ての市民がデジタル技術とデータ利活用の恩恵を享受できるとともに、新たな生活様式において安全で安心な暮らしや豊かさを実感できる、デジタル市役所の実現を目指します。」としています。

また、令和3年9月には、戸田市においてもさらなるデジタル化を推進することを内外に宣言し、市の方針を明らかにするとともに、戸田市全体的なデジタル化の機運を高めるため、「デジタル宣言」を行いました。

このような中、本ドキュメントでは、DX推進計画に関するビジョンを具体化したものを「DX推進ビジョン」として設定しました。また、将来のビジョンの実現に向けて、DXビジョンを実現するためDX推進計画の進捗状況を記載しました。

DX推進ビジョンにより、より確実な戸田市のデジタルトランスフォーメーションの実現を図っていきます。



デジタル化施策の全体ビジョン

行政手続きのデジタル化

スマートフォンで完結する行政手続き

- ・スマート申請の拡充
- ・公共施設予約システム
- ・LINEによる申請
- ・粗大ごみ受付

利便性の高い窓口サービス

- ・窓口サービスのデジタル（おくやみコーナー・書かない窓口）
- ・手続きナビゲーション
- ・図書館利用のデジタル化

キャッシュレス化

- ・庁内収納のキャッシュレス化
- ・公共施設予約のキャッシュレス化
- ・オンライン申請のキャッシュレス化



デジタルトランスフォーメーション

事務や会議などの効率化や活性化

- ・テレワークシステムの推進
- ・職員ポータル拡充
- ・事務のペーパーレス化
- ・WEB会議の活用

市役所業務のデジタル化のさらなる推進

- ・ガバメントクラウド
- ・情報システム標準化
- ・AI・RPAの導入推進
- ・情報セキュリティの強化
- ・メタバース（仮想空間）の活用
- ・BPRの取組みの徹底



デジタル市役所

市役所



持ち運べる市役所



市民とデジタルでつながる市役所

誰一人取り残さない人にやさしいデジタル化

- ・デジタル活用支援
- ・おくやみコーナー・書かない窓口
- ・ワクチンお助け隊
- ・マイナポイント設定支援窓口

多様な情報をデジタルでスピーディに

- ・公園や道路の破損をLINEで通報
- ・ごみの出す日のリマインダー通知
- ・LINEプッシュ型通知

市役所とのつながりをデジタルで

- ・市民の声データベース
- ・WEBによるアンケート
- ・町会のデジタル化



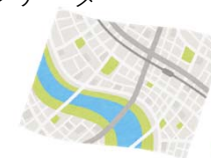
官民データの活用

データの利活用でEBPMを推進

- ・行政データ貯蔵庫の活用
- ・庁内データ活用
- ・EBPMに基づいた施策の推進
- ・データアナリスト人材育成

オープンデータの推進

- ・アイデアソン、ハッカソンの開催
- ・推奨データセットに基づいたオープンデータ
- ・透明性・信頼の確保
- ・GIS情報の活用



デジタル化施策の全体ビジョン

行政手続きのデジタル化

●スマートフォンで完結する行政手続き

すべての手続きが来庁不要で、スマートフォンから簡単に手続きができることを目指します。

・スマート申請の拡充

住民票、印鑑証明などの申請がスマートフォンで完結できます。非課税世帯特別給付金の申請など、今後拡充していきます。



・公共施設予約システム

公共施設予約をキャッシュレスに対応することで、利用料金の支払いがスマートフォンでできるようになります。



・LINEによる申請

LINEで行政手続きの申請ができるようになります。またマイナンバーカードにも対応します。



・粗大ごみ受付

スマートフォンで粗大ごみの申込みを料金の支払いも含めて完結できるようにします。



●利便性の高い窓口サービス

デジタル化により、利便性の高い窓口サービスの実現を目指します。

・おくやみコーナーの設置

おくやみに関する手続きをワンストップで完結する「おくやみコーナー」を設置します。



・書かない窓口の導入

職員が市民に代わって申請書を作成することで、申請書に記入する必要がない「書かない窓口」を導入します。



・手続きナビゲーションの導入

引越などライフイベントに応じ手続きをあらかじめインターネットで判定し、申請書が作成できるようになります。



・図書館利用のデジタル化

図書館利用申請や予約がオンライン受付できるようになります。



●キャッシュレス化

すべての支払いをキャッシュレスで行えるようにすることを目指します。

・庁内収納のキャッシュレス化

すべての使用料や手数料の支払いをキャッシュレス化します。



・公共施設のキャッシュレス化

公共施設の使用料や手数料の支払いをキャッシュレス化します。



・オンライン申請のキャッシュレス化

オンライン申請における支払いをキャッシュレス化します。



デジタル化施策の全体ビジョン

市民とデジタルでつながる市役所

●誰一人取り残さない人にやさしいデジタル化

すべての方がデジタル化の恩恵を享受できるデジタル化を目指します。

・デジタル活用支援

デジタル機器の利用に不安のある方を対象に、スマートフォンの基本的な使い方の講習会を開催します。



・おくやみコーナー・書かない窓口

オンライン申請が苦手な方や、窓口で申請が必要な方に、簡単で利便性の高い窓口サービスを提供します。



・ワクチンお助け窓口

新型コロナワクチン接種のオンライン予約が苦手な方のために、ワクチン予約を職員が支援する窓口を設置。



・マイナポイント設定支援窓口

マイナポイント設定が苦手な方に職員が設定を支援する窓口を設置。

POINT



●多様な情報をデジタルでスピーディーに

さまざまな情報をデジタルでやり取りできるようにします。

・公園や道路の破損をLINEで通報

スマートフォンから公園や道路の破損を市役所に通報できるようになります。



・ごみの出す日のリマインダー通知

燃えるごみや資源ごみの日など、ごみの出す日をプッシュ型で前日にお知らせします。



・LINEプッシュ型通知

LINEのメッセージ配信により、プッシュ型で市からののお知らせをお届けします。

おらせ

●市役所とのつながりをデジタルで

市民と市役所をデジタルでつなぎます。

・市民の声データベース

市民からの問い合わせを庁内で共有し迅速に回答できるようにします。



・WEBアンケート

LINEやWEBアンケートにより、スピーディーに市民の意見を収集します。



・町会のデジタル化

町会にWi-Fiを設置し、市役所とのコミュニケーションをしやすくします。



デジタル化施策の全体ビジョン

デジタルトランスフォーメーション

●事務や会議などの効率化や活性化

デジタル化により、事務処理や会議などの効率化を図ります。

・テレワークの推進

テレワークシステムにより、コロナ禍においても市役所業務の継続し、新しい生活様式に対応します。



・職員ポータルの拡充

職員が使用するポータルシステムにチャット機能などの新たな機能を導入し、業務効率化を図ります。



・事務のペーパーレス化

電子決裁やワークフローによる事務のペーパーレス化を図ります。



・WEB会議の活用

職員用端末を活用し、WEB会議やペーパーレス会議を推進します。



●市役所業務のデジタル化のさらなる推進

AI・RPAなどのデジタル技術を活用し、事務の効率化を図ります。

・ガバメントクラウド

国が整備するガバメントクラウドの活用を検討します。



・情報システム標準化

令和7年度までに情報システム標準化に対応したシステムの導入を進めます。



・AI・RPAの導入

AI音声認識システムや航空写真AI解析システムなど、AI技術を活用したシステムを導入し、事務の効率化を図ります。



・情報セキュリティの強化

情報セキュリティ強靱化に対応したシステム導入し、さらなるセキュリティ対策の徹底を図ります。



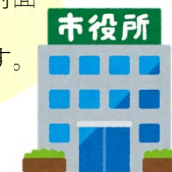
・メタバース（仮想空間）の活用

メタバース（仮想空間）を活用し、バーチャル商談会を開催するなど、産業・地域の活性化を図ります。



・BPRの取組みの徹底

デジタルを活用し、書面・押印・対面の見直しなどの行政事務を見直し、簡素で効率的な行政運営を図ります。



デジタル化施策の全体ビジョン

官民データの活用

●データの利活用でEBPMを推進

データを活用し、エビデンスに基づいた施策を推進します。

・行政データ貯蔵庫の活用

庁内データ・計画の集約化と共有化のため、庁内のデータを集約した「行政データ貯蔵庫」を庁内で共有し、政策形成等にデータを活用します。



・庁内データ活用

庁内で保有するデータは、一度提出された情報は再提出を求めないよう市民サービスの向上のため活用を推進します。



・EBPMに基づいた施策の推進

政策決定等において庁内で保有するデータやオープンデータを用いて分析等を行うことで、業務の効率化、高度化を図ります。



・データアナリスト人材育成

データを有効活用するため、どんなデータが必要で、どんな分析が必要かを判断するばデータアナリスト人材の育成に努めます。



●オープンデータの推進

オープンデータを推進し、地域課題の解決を図ります。

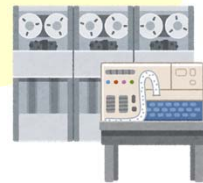
・アイデアソン、ハッカソンの開催

市民と協働しながらニーズを把握し、地域課題の解決に活用するため、アイデアソン、ハッカソンを開催し、市民参加・官民協働を推進します。



・推奨データセットに準拠

推奨データセットに準拠したオープンデータ活用基盤の整備を行い、利用しやすい形での公開に努めデータの活用を高度化を推進します。



・透明性・信頼の確保

公開可能なデータを積極的に公開することで、情報公開や資料提供の手間を省くとともに、行政の透明性・信頼の向上を図ります。



・GIS情報の活用

オープンデータを座標付きで公開するなど、使われることを前提とした活用しやすいデータ公開に努めます。

